

TGR TEAM KeePer CERUMO

2026 AUTOBACS SUPER GT Report

FUJI GT 300km RACE

第4戦 富士スピードウェイ

KeePer CERUMO GR Supra

#38 大湯都史樹／小林利徠斗

◆ 8月2日（日） RACE

決勝結果 6位

8月1日（土）に行われた公式予選では4番手を獲得し、GR Supra 勢の最上位グリッドを獲得。サクセスウエイトの状況を考えればチーム、ドライバーともに満足いくグリッドを獲得することができたTGR TEAM KeePer CERUMOは、そんな好位置を結果に繋げるべく、8月2日（日）の決勝日を迎えた。



この日も富士スピードウェイは朝から気温30度を超える暑さで、午後0時から行われたウォームアップは曇り空のもとドライコンディションで迎えたが、スターティンググリッドについた後、午後1時を過ぎる頃から、富士スピードウェイ上空には通り雨が降りはじめた。コースコンディションはあっという間にウェットとなったが、スタート直前には雨は止み日射しも出はじめるなど、チームは作業が許される直前までタイヤ選択に頭を悩まされることになった。



気温34度／路面温度47度というコンディションのもと迎えた決勝では、KeePer CERUMO GR Supraはスタート時にスリックタイヤを選択。スタートドライバーを務めた小林利徠斗に序盤の戦いを委ねた。レースはそのままセーフティカースタートとなったが、この間にライン上はあっという間に乾いていった。

KeePer
FOR SMART CAR LIFE

GR Toyota Gazoo Racing

BRIDGESTONE

ZENT

RMU
RACING PADS

ELK HOMES

トヨタカローラモータース

山田ヨペット

Felix88

SANKISHOKAI

VERTEX PARTNERS

asics

LaKeel

HYPER WATER

EW

HASSIN

エサキ

SONAX



TGR TEAM KeePer CERUMO

セーフティカーは5周目に退去し、熱戦の火ぶたが切って落とされたが、小林は冷静にリスタートを決め4番手でGRコーナーに入っていく。しかしその後方では、7番手スタートの#64 HRC Prelude-GTと8番手スタートの#23 Z NISMO GT500、9番手の#12 Z NISMO GT500



がストレートで交錯。#64 HRC Prelude-GTが宙を舞う激しいクラッシュが発生し、レースは赤旗中断となった。

レースは午後2時15分、2回目のセーフティカー先導で再開された。10周目にリスタートを迎えると、小林は4番手をキープしながらレースを進めていく。ただ、14周目あたりからはふたたび雨粒が舞い出すなど、難しいコンディションでのレースを強いられていった。しかし、そんな状況のなか小林は3番手に行く#17 HRC Prelude-GTとのギャップを縮めていった。

小林は21周目、#17 HRC Prelude-GTとのバトルに持ち込むと、これを制し一時3番手に浮上したが、その後方からは決勝ペースに優る#37 GR Supraが接近し、これに先行を許してしまいKeePer CERUMO GR Supraはふたたび4番手に。そんな展開を終え、22周をこなした小林はピットイン。残りのステイントを大湯都史樹に託した。



ただ、このピットインで小林はわずかに停止位置をオーバーランしてしまい、この影響でわずかにTGR TEAM KeePer CERUMOのピット作業はタイムロスをおくってしまう。#16 HRC Prelude-GTの先行を許してしまうなどややポジションを下げてしまった。大湯はすぐに#16 HRC Prelude-GTをオーバーテイクすることはできたものの、全車がピット作業を終えてみると、KeePer CERUMO GR Supraの順位は5番手となった。

大湯はレース後半、4番手を走っていた#17 HRC Prelude-GTとのギャップを少しずつ縮めていったが、後方からはランキング首位である#36 GR Supra、



TGR TEAM KeePer CERUMO

さらに#14 GR Supra が近づいてきた。47 周目、#36 GR Supra がテールにつき、粘る大湯がハードブレーキングを強いられるシーンも。

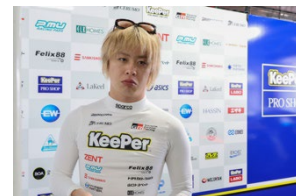
チャンピオンを争うにあたって#36 GR Supra は絶対に防ぎたい相手ではあったが、いかんせん地力のペースが異なっており、大湯は#36 GR Supra の先行を許してしまうことに。その後、大湯は#14 GR Supra、#39 GR Supra の 2 台を従えつつ、#17 HRC Prelude-GT を追うレースを展開していったものの、最後は 0.816 秒届かず。KeePer CERUMO GR Supra は 6 位でフィニッシュすることになった。



サクセスウエイトがあることや、ライバルの状況を考えれば入賞はプラスに捉えたいところではあるが、いかんせん首位の#36 GR Supra に先行されたこと、そしてペースに苦しんだことを考えると、手放しで喜ぶわけにもいかない。第 5 戦鈴鹿はすぐ 3 週間後に迫っている。TGR TEAM KeePer CERUMO は逆襲に向け、次戦へ準備を進めていく。

ドライバー／大湯都史樹

「第 1 スティントではいろいろなことがある中で、短いスティントを小林選手が落ち着いて戦ってくれて、順位を守って戻ってきてくれたのですが、ピットでのタイムロスもありましたし、シンプルにパフォーマンス不足に悩まされました。せっかくの上位スタートが結果に繋がらないレースになってしまいました。本来、富士がいちばんパフォーマンスがあるサーキットだったので、第 2 戦、第 4 戦とも勝ちたいところではありましたが、ここが良くない結果になってしまったので、正直ちょっと苦しいですね。鈴鹿はチームとしてはそれほど得意なわけではありませんが、周囲もポイントを獲得してウエイトも積み始めているので、その点では比較的有利になると思います。めげずに頑張りたいですね。鈴鹿に向けてしっかり準備をして、良いレースができるようにしていきたいと思っています」



TGR TEAM KeePer CERUMO

ドライバー／小林利徳斗

「まずはスタートから無事に帰ってくることができたので、その点は良かったです。セーフティカースタートで、濡れた中でのスリックでいかにタイヤを温めるかは難しかったですが、きちんとやることはできました。赤旗再開後はまずは抜かれないようにしつつ、前のペースが落ちてきたタイミングで仕掛けることもできました。ただ前車のペースがかなり悪かったので、もう少し早く仕掛けたかったと思いますし、僕の反省として、ピットストップの停車位置がかなりズレてしまったので、その点は改善点だと思います。今回は全体的にペースが足りなかったですし、自分の反省点も含め、チーム全体でいろいろなことを見直していきたいと思っています」



立川祐路監督

「スタート直前に雨が降ったり、セーフティカースタートになってリスクな状況のなかで、小林選手がきっちりとスタートをしてくれました。ただそのうしろで大きなアクシデントがありました。ドライブしていたイゴール・オオムラ・フラガ選手が無事とのことだったので、その点は良かったですね。小林選手は赤旗再開後は短いスティントになりましたが、オーバーテイクもしてくれましたし、頑張ってくれたと思います。ただピットイン時にオーバーランをしてしまったり、その後の大湯選手のスティントで想像以上にレースペースが悪く、その点は想定外でした。結果的に苦しいレースになってしまいましたね。原因も含めてしっかり見直していきたいと思います。応援ありがとうございました！」



TGR TEAM KeePer CERUMO



TGR TEAM KeePer CERUMO

決勝結果

Rank	Car No.	CarName	Lap	Diff
1	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	66	
2	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	66	0.662
3	37	Deloitte TOM'S GR Supra	66	1.478
4	36	au TOM'S GR Supra	66	15.901
5	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	66	21.182
6	38	KeePer CERUMO GR Supra	66	21.518
7	14	ENEOS X PRIME GR Supra	66	23.166
8	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	66	24.371
9	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	66	29.239
10	19	WedsSport BANDO GR Supra	66	33.049
11	24	REALIZE CORPORATION Z	66	42.112
12	12	TRS IMPUL with SDG Z	65	1Lap
13	23	MOTUL Niterra Z	16	50Laps
14	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	4	62Laps



TGR TEAM KeePer CERUMO

ポイントランキング

Rank	Car No.	CarName	Point
1	36	au TOM'S GR Supra	48
2	14	ENEOS X PRIME GR Supra	28
3	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	27
4	38	KeePer CERUMO GR Supra	21
5	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	17
6	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	16
7	12	TRS IMPUL with SDG Z	15
8	23	MOTUL Niterra Z	14
9	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	13
10	37	Deloitte TOM'S GR Supra	11
11	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	9
12	24	REALIZE CORPORATION Z	7
13	19	WedsSport BANDO GR Supra	2
14	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	0

